



### 学習項目と 3x3+3 との対応

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツの観光案内で用いられている表現や語彙を調べ、リストアップする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツの人気の観光スポットを調べる。</li> <li>日独の観光スポットを比較し、どのような違いや共通点があるかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループワークを通じて、集団の中で問題を解決する意義を理解する。</li> </ul>
できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光名所等を紹介する。</li> <li>目的地への所要時間や交通ルートについて説明する。</li> <li>料理について、味を説明したり、勧めたりする。</li> <li>買い物の情報をアドバイスする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日独の文化の違いを認識し、説明する。</li> <li>日本特有の文化事象について、知識情報を活用しながら相手に伝える。</li> <li>自分化あるいは若者文化について再認識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのテーマに関して、グループ内で役割を分担し、責任を果たす。(情報収集、写真・イラスト作成、原稿作成)</li> <li>情報収集およびパンフレット・プレゼン資料の作成にあたり、ICT を効果的に活用する。(インターネット、PowerPoint)</li> </ul>
つながる	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人だけでなくドイツ人の講師も招待し、フィードバックを受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の発表を聞いて意見を交換する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた内容を、パンフレットやプレゼンの形で他者に伝える</li> </ul>
三連携	連携 1：自分の関心のあることについて意欲的に発信する、グループ作業を通じて積極的に活動に参加する、IT 操作など得意な分野を生かす		
	連携 2：既習の語彙および表現、情報		
	連携 3：インターネット、ドイツの観光 web サイト		

## 総括的評価のためのポイント

- ・既習項目をきちんと応用できたか
- ・発表に際して、声の大きさ、発音およびイントネーションは適切だったか
- ・自分たちの調べた内容を、効果的に伝えられたか
- ・パンフレット制作やプレゼンにおいて、創意工夫が見られたか
- ・グループの一員として役割を果たせたか

## 総括的評価のための活動の指示文

- ・2020年東京オリンピックを見据えて、東京の観光名所や食事のスポットの案内をドイツ語版で作ります。また、実際にボランティア活動をすることを想定したうえで、観光案内のプレゼンを行います。
- ・グループに分かれ、東京と、ドイツの首都ベルリンの観光案内を比較して、どのような場所が紹介されているか、またドイツ語ではどのような表現が用いられているか調べて下さい。
- ・各グループで調べた内容についてリストを作成し、発表します。リストは一度教員に提出して下さい。
- ・グループごとに、東京で紹介したいテーマ（名所やスポット）を決め、クラス全体で協議します。テーマには2つの候補を挙げて下さい。
- ・グループごとにパンフレットを作成します。役割を分担し、写真やイラストの挿入、色分けなど、視覚的な工夫もこらして下さい。大まかな構想ができれば一度教員に提出して下さい。写真は休みを利用してなるべく自分たちで集めて下さい。
- ・パンフレットをもとにプレゼン資料を作成します。資料の作成はPC教室でPowerPointを用いて行います。写真やイラストの挿入、アニメーションなどを用いて工夫して下さい。また、簡単な日本語の字幕も作成して下さい。  
同時に、発表の原稿（ドイツ語）もWordで作成し、PowerPoint資料と共に教員に一度提出して下さい。
- ・全体で一度リハーサルを行います。教員からのフィードバックをもとに修正を加え、原稿は発表当日までにできるだけ暗記して下さい。
- ・当日はゲーテ・インスティテュートからドイツ人の方も招待します。発表に向けて、単語のアクセントや文のイントネーションに気を付けて下さい。

## ループリック

	目標以上達成（4点）	目標達成（3点）	あと1歩（2点）	もっと努力（1点）
アイコンタクト	資料、メモをほとんど見ずに、聴衆も十分に意識できていた。	資料、メモを見ることもあるが、聴衆を意識できていた	資料、メモを見ていることが多く、聴衆を意識していない	資料、メモばかりを見ていて、聴衆を全く意識していない
伝わりやすさ	聴衆の反応に合わせて適度な間を挟み、はっきりと大きな声でよく聞き取れる。	声もはっきりしていて、聞き取りやすい。	時折詰まる場所があり、声も小さくなる場所がある	終始詰まる場所があり、声も小さくて聞き取りにくい
発音	発音の規則性やイントネーションのパターンからほとんど逸脱することがなかった。	発音の規則性やイントネーションのパターンから逸脱することもあったが、内容は理解できた	発音の規則性やイントネーションのパターンから逸脱することが多々あったが、内容の理解を妨げることはなかった	発音の規則性やイントネーションのパターンからの逸脱が著しく、内容の理解を妨げるものだった
スライドの構成	内容に即した視覚資料であるうえ、色彩やデザインに工夫が見られ、聴衆を惹きつける魅力があった。	内容に即した視覚資料を提示し、全体的な流れにまとまりがあった	内容に即した視覚資料は提示しようとしているが、全体的なまとまりがなかった	視覚資料が不十分で、内容に即していなかった
パンフレット	写真やイラストに加え、カラーを用いて視覚的にも十分な効果を用い、説明も的確で十分に興味を引く内容であった。	写真やイラストを効果的に使い、必要最低限の明確な説明がなされていた。	写真やイラストはあるが、説明が不適切だった。	写真もイラストもなく、説明も不適切だった。

## 目標分解

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	テーマ
日本とドイツの首都の観光サイトを比較する。	違いや、共通点を認識する。	語彙・表現リストを発表する。	東京ガイド2020ドイツ語版を作ろう！ 【場面状況】都立北園高校ドイツ語クラスでは、2020年東京オリンピックを見据えて、東京の名所や食事スポットを紹介するドイツ語版パンフレットを作成することになった。また実際に街に出て観光案内のボランティアを想定したプレゼン資料 東京の名所や食事スポットの案内をドイツ語で作成する。 実際にボランティアとしてドイツ人の観光案内を手伝うことを想定したプレゼンができる。	東京ガイド2020ドイツ語版を作ろう！ 【場面状況】都立北園高校ドイツ語クラスでは、2020年東京オリンピックを見据えて、東京の名所や食事スポットを紹介するドイツ語版パンフレットを作成することになった。また実際に街に出て観光案内のボランティアを想定したプレゼン資料
語彙や表現を調べ、リストを作る。	主要な語彙・表現を覚える。			
各々の発音等を確認する。				
【形成的評価】語彙・表現リストを提出する。→フィードバックする。				
グループごとに紹介するテーマを決める。	様々なソースを用いて情報を共有し、適切なデータを選定する。	各テーマに即したドイツ語版の案内を作成する。		
テーマに関する情報を収集する。				
写真やイラストを集める。				
全体的なレイアウトを考え、下書きをする。	調べた語彙・表現を応用する。			
【形成的評価】パンフレットを提出する。→フィードバックする。				
プレゼン資料（スライドショー）の構成を考える。	ICTを活用して、効果的なスライドを作成する。	プレゼンのための資料ならびに発表原稿を完成させる。		
写真やイラストを挿入する。				
原稿の草案を練る。	調べた語彙・表現法および既習項目を応用し、スライドに合った文章を作成する。			
日本語字幕を挿入する。				
【形成的評価】プレゼン資料および原稿を提出する。→フィードバックする。				
発表原稿を暗記できるよう練習をする。	各グループでリハーサルを想定したリハーサルを行う。	自分たちのテーマについて相手に明確に伝える。		
アクセント、イントネーションを再確認する。				
発表に合わせてスライドを操作する。				
【形成的評価】クラスでリハーサルを行い、フィードバックする。				
【総括的評価のための活動】ドイツ人を招待してプレゼンテーションを行い、講評してもらう。また、他のグループの評価も行う。				

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015\_実践課題

作成者：能登慶和／獨協医科大学講師・都立北園高校非常勤講師（ドイツ語）

## 学習者の個人的特性への対応

- ・グループ内でイラスト作成や、IT に精通した生徒と、それ以外の生徒での明確な役割分担。